

白杵市 施策評価シート
(令和4年度)

評価担当者	課名	氏名	内線
	農林振興課有機農業推進室	竹尾 智明	201

コード	IV-11-20	施策名	「有機の里うすき」の実現
施策の方針	おいしく安全な食材を創り活かす		
まちづくりの方針	魅力ある資源を市民が創り活かし、人が集まりにぎわうまち(産業・観光)		
5年後のめざす姿	「うすき夢堆肥」による「土づくり」に重点を置いた有機農業に取り組みやすい環境を整備し、生産者と消費者がともに「食」に関する重要性の理解を深めます。白杵市長が認証する「ほんまもん農産物」(以下「ほんまもん農産物」)や「有機JAS認証による農産物」(以下「有機農産物」)を、気軽に手に入れることができる環境をめざします。		
施策の内容	「うすき夢堆肥」による土づくりにより農業者が有機農業に取り組みやすい環境づくりや、「ほんまもん農産物認証制度」による有機農産物のブランド化を推進するとともに、安心安全な農産物の供給や有機農業の生産拡大を図ります。また、有機農業の新規就農者の拡大や学校給食への有機野菜の供給拡大を図ります。		

<指標>

新規指標	指標名	説明・算式・引用	実績の推移					
			単位	R1	R2	R3	R4	R5
「ほんまもん農産物」と有機農産物栽培生産戸数	「ほんまもん農産物」及び有機農産物認証生産戸数	目標	戸	60	60	55	57	59
			実績	54	63	54	54	
			達成率	%	105.0%	90.0%	98.1%	
学校給食での「ほんまもん農産物」と有機農産物の使用割合	学校給食の野菜使用総量に対する「ほんまもん農産物」及び有機農産物の使用割合	目標	%	16.0	15.0	35.0	45.0	50.0
			実績	14.6	12.5	11.3	24.0	
			達成率	%	78.1%	75.3%	68.5%	
「ほんまもん農産物」と有機農産物の利用店舗数	「ほんまもん農産物」及び有機農産物取扱店舗数	目標	店舗	30	35	70	75	80
			実績	30	41	65	75	
			達成率	%	136.7%	185.7%	107.1%	
「ほんまもん農産物」及び有機農産物栽培圃場面積	「ほんまもん農産物」及び有機農産物栽培圃場面積	目標	ha	84.0	88.0	87.0	91.0	91.0
			実績	80.0	80.8	85.9	91.0	
			達成率	%	96.2%	97.6%	104.6%	
		目標						
			実績					
			達成率	%				
		目標						
			実績					
			達成率	%				
		目標						
			実績					
			達成率	%				

指標の分析	<p>・「ほんまもん農産物及び有機農産物」認証生産戸数については、農家の高齢化が急速に進む中、生産意欲の維持・向上や担い手の育成に向けた取り組みの強化を図り、生産戸数の拡大に努めます。</p> <p>・学校給食への供給については、目標数値に届かなかったものの、昨年度の2倍強の供給率となりました。今後も学校給食への更なる供給率向上に向け、課題等を分析し環境整備等を図ります。</p> <p>・「ほんまもん農産物及び有機農産物」の取扱店舗数は、新型コロナウイルス感染症の影響により昨年度に引続きイベント等が中止される中、情報発信を積極的に取り取扱店舗数の増加が図れています。</p> <p>・「ほんまもん農産物等栽培圃場面積」については、認証生産戸数が伸び悩んでいるため、更なる農産物の安定生産に向けた指導や販路拡大に努め、若い生産者を中心に個々の作付圃場面積は拡大を図ります。</p>
-------	--

<市民意識調査結果>

	領域名	必要度	満足度
市民意識調査結果 (R4調査)	見直し領域	2.50	2.16
市民意識調査結果分析	<p>国は、「みどりの食料戦略」や「みどりの食料システム法」を制定し、有機農業をはじめとする環境負荷の軽減を推進している。また、本市においても、循環型社会の構築や「ユネスコ創造都市ネットワーク食文化分野」への加盟認定により有機農業周知に向けて学校給食への「ほんまもん農産物」供給拡大等積極的な事業に取り組んでいるものの、市民への情報発信がまだまだ十分ではないと思われます。</p>		

<次年度以降の課題>

令和5年度以降の課題	「有機の里うすき」の取り組みや「第2次ほんまもんの里みんなでつくる白杵市食と農業基本計画」においても、生産振興や担い手対策は重要な取り組みです。そのため、生産振興に向けては、引き続き「うすき夢堆肥」の安定的な生産・供給に努め土づくりの更なる推進と併せ、生産者の収入の確保や販路の拡大を図り、生産意欲の維持・向上に努め、担い手対策では、若い生産者を中心に有機JAS認証取得の促進を図ります。また、農産物の生産については、「ほんまもん農産物」をはじめとする有機農産物の安定的な生産・作付面積の拡大を推進するとともに消費についても、学校給食への地産地消や市外への更なる販売促進を図ります。
------------	---

<施策を構成する主な事務事業一覧表>

事務事業名	事業内容	担当課 ※実施した課を記入	課の重点 ※運営計画記載	事業費(単位:千円)			課長評価	公共5カ年	他の関連施策コード
				R3年度実績	R4年度実績	令和5年度年度見込み			
1 土づくりセンター指定管理料	土づくりセンターの堆肥製造、販売等の指定管理を行います。	農林振興課有機農業推進室	○	35,000	35,500	35,500	重点継続	○	
2 ほんまもんの里うすき農業推進協議会補助金	環境保全型の推進、「ほんまもんの里うすき」ブランドの確立、地産地消を推進する協議会への補助金	農林振興課有機農業推進室	○	-	2,600	4,350	重点継続		
3 有機農業起業家誘致奨励金	有機JAS認証を取得する新規農業者への奨励を行います。	農林振興課有機農業推進室	○	3,000	2,000	4,000	継続		
4 環境保全型農業直接支払交付金	環境保全を行う有機農業者への交付を行います。	農林振興課有機農業推進室	○	4,887	4,933	5,040	継続	○	
5 地域おこし協力隊(有機農業)	地域おこし協力隊制度を活用し、栽培研修及び販売対策事業に取り組みます。	農林振興課有機農業推進室	○	14,470	18,360	25,682	継続	○	
6 有機農業推進支援負担金	学校給食への安心・安全なほんまもん農産物利用率と農家の生産意欲向上のため学校給食調理場が購入する価格の上乗せ助成。	農林振興課有機農業推進室	○	984			重点化	○	
7									
8									
9									
10									
合計				58,341	63,393	74,572			

<施策の今後の展開 ~担当課長評価>

進捗状況	「有機の里うすき」において核となる「うすき夢堆肥」の安定的な製造と供給のため、土づくりセンターの製造・管理運営の中長期計画作成に向けた調査・研究の実施、地域おこし協力隊や若い生産者を中心とした担い手育成と研修の拡充、学校給食への供給率向上に向けた環境整備等の試行的取り組みによる研究と検討、ブランドの一元化による販路拡大など現状の取り組みの更なる強化の必要があります。	課長評価	最重点施策であり、来年度強化する
------	--	------	------------------

<施策の今後の展開 ~内部評価(内部検討会)>

※以降の評価は、令和3年度～令和5年度の3カ年に分けて実施予定。

実施年度	内部評価
令和3年度実施済	-

<白杵市行財政活性化推進委員会による外部評価:最終>

外部評価	評価のコメント
-	

<白杵市行財政活性化推進委員会を受けての市の取組>

--